

企画戦略委員	樽屋 克彦（日立）	登録委員数	委員 24名、特別委員 8名
正副委員長 リーダー・サブ	委員長 三宅 優（KDDI）、副委員長 夏川 勝行（NTT）	図解	
活動の目的・意義	- 目的：電気通信サービスに関わるサービスにおいて、サービスの安定運用とお客様への被害を最小限とするセキュリティ対策の仕組みの中で、国際標準化や情報共有が必要なものを勧告、技術文書として発行。 - 意義：電気通信サービスに関わる新しいネットワーク技術、アーキテクチャー、サービス、等においてセキュリティ対策は必須となっており、サービスの安定運用と日本の技術の展開に向けた取り組みを実施可能。		
活動する上での課題	5G、Beyond 5G/6G、クラウド・仮想化、等の新プラットフォームや、量子、AI技術等の発展により、新たなサービスの展開が急速に進み、これに伴うセキュリティ上の問題対する新たな取り組みが必要。		
関連のSDGsゴール			
標準化方針	- ITU-T SG17の活動において、特に、セキュリティマネジメント、ITSセキュリティ、IoT/M2Mセキュリティ、5Gセキュリティ（インフラセキュリティを含む）、クラウドセキュリティ、ID管理、DLTセキュリティ、量子暗号通信（QKD）の活動に対して寄書等により貢献。 5Gセキュリティについては、5GMFのセキュリティ調査研究委員会、ITSセキュリティについては、3J（自技会、自工会、JASPAR）との連携を推進。 - 他の分野と連携が必要な項目については、該当する専門委員会と引き続き情報交換を行いながら検討を実施。具体的には、IoTセキュリティ（oneM2M、IoT/SC）、ITSセキュリティ（マルチメディア、コネクテッドカー）、DLTセキュリティ（マルチメディア）、等が対象。 - 他国が提案する新規ワークアイテム、および、勧告案において、日本の方針に反する内容を勧告に含まれないように注視し、必要な対応を行う。		
国内外標準化団体動向	- ITU-T SG17は、2021年4月会合より新規の課題構成となったが、WTSAで議長・副議長が更新されることから、2022年4月より、各課題のラポータ・アソシエイトラポータの変更、および、WP構成の変更が行われる。現時点のSG17関係者でTask Forceを構成して議論する。 5Gセキュリティについては、SG17において各標準化団体等の活動を整理したロードマップを作成中。ロードマップに従って5Gセキュリティ関係の取り組みが行われる。	R: ラポータ、AR: アソシエイトラポータ、C: コンビナー 2022年4月以降の役職者は未定 - WP構成は再編成される可能性あり	

重点取り組みと成果	・X.1060（Framework for the creation and operation of a cyber defence centre）及び、量子鍵配送に関わるの勧告化貢献とTTC標準化 ・5Gセキュリティ（標準化ロードマップ）、ITSセキュリティ（X.1373改定、V2X通信データ要件）、IoT（セキュリティ管理策）、ID管理（FIDO勧告化）、DLT等への活動の積極的な貢献			
関連する専門委員会とその内容	・コネクテッド・カー専門委員会：X.1373の改訂作業、および、その他のITSセキュリティ関係のワークアイテムの対応検討 ・Network Vision専門委員会、信号制御専門委員会：QKDに関わる勧告作成 ・IoT・スマートシティ専門委員会：IoTセキュリティ関連のワークアイテムの取り扱い ・IoTエリアネットワーク専門委員会：IoTセキュリティに関する連携			
主な活動項目	概況指標	2021年度目標（当初計画時）	2021年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	・各SG17会合で10件程度	・9件（SG17 2021年4月会合） ・10件（SG17 2020年8～9月会合）	
	外部会合への参加・連携状況	・SG17会合（2021年4月、8～9月） ・CJK Information Security WG会合（次期末定）	・CJK Information Security WG会合は、コロナ禍のため中止。 ・2020年3月のSG17会合は、24名の参加。 ・2020年8～9月のSG会合は、25名の参加。	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件 ・サイバーセキュリティ関連で標準化が必要と考えられる勧告の有無について検討する。	0件 ・2020年度はダウンストリーム以外のTTC標準化案件は無し。	
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	1件 ・X.framcdc（Framework for the creation and operation of a cyber defence center） ・X.1373（X.itssec-1）については、関連標準化組織の動向等を見ながら標準化検討する。（X.itssec-1: Secure software update capability for ITS communication devices）	2件を標準化作業中 ・ITU-T X.1060（Framework for the creation and operation of a cyber defence center）をJT-X1060としてTTC標準化。 ・ITU-T X.1712（Security requirements and measures for quantum key distribution networks – key management）をJT-X1712としてTTC標準化。	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	・セキュリティに関するセミナー開催（2021/2Q）	・11月に「ニューノーマル時代のIoTエリアネットワークとセキュリティに関わる標準化・技術動向」をIoTエリアネットワーク専門委員会と共催。	
	記事投稿、講演会	・TTCLレポート活動報告、他	・ITU-T SG17 第8回特別会合、第9回会合に関して結果報告。（TTCLレポート 2021年4月号、2021年7月号） ・Security Days 2021 FallにTTCとして5Gセキュリティ標準化に関する講演を実施。	

新テーマ及び重点取り組み	- 他の標準化団体の動向を含む5Gセキュリティ標準化ロードマップを反映した5Gに対するセキュリティ管理策の勧告作成に着手 - ISO/IEC 27002改定に対応したITU-T X. 1051（テレコム向けISMS）の改定検討開始 - ITSセキュリティに関し、コネクテッド・カー専門委員会、および、3J（自技会、自工会、JASPAR）と連携し、X.1373改訂作業等に反映 - ISO/IEC 27400の審議状況を見据えた、IoTシステムのためのセキュリティ管理策（X.sc-IoT）の日本の意向を反映した勧告草案の更新 - X.1060（Cyber cyber Defence Centre）のアフリカ諸国等への展開に対する協力 - 引き続き日本として注力・主導してきたQKD、IoTに関するワークアイテムの勧告化に貢献（QKDに関してはNetwork Vision専門委員会と連携）			
関連する専門委員会または外部組織とその内容	- コネクテッド・カー専門委員会：X.1373の改訂作業、および、その他のITSセキュリティ関係のワークアイテムの対応検討 - Network Vision専門委員会、信号制御専門委員会：QKDに関わる勧告作成 - IoT・スマートシティ専門委員会、IoTエリアネットワーク専門委員会：IoTセキュリティ関連のワークアイテムの取り扱い - マルチメディア応用専門委員会：課題Q.22 分散電子台帳技術とe サービス 5GMF セキュリティ調査研究委員会：5Gセキュリティに関わる連携			
主な活動項目	概況指標	2022年度目標（当初計画時）	2022年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	・各SG17会合で10件程度	-	
	外部会合への参加・連携状況	・SG17会合（2022年5月、8～9月） ・CJK Information Security WG会合（次期末定）		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件 ・サイバーセキュリティ関連で標準化が必要と考えられる勧告の有無について検討する。		
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	1件 ・X.1373については、本勧告の改定状況等を見ながら標準化検討する。（X.1373: Secure software update capability for ITS communication devices）	TS制定 TR制定:	
④ プロモーション 普及推進	セミナー	・セキュリティに関するセミナー開催（2022/2Q）		
	記事投稿、講演会	・TTCLレポート活動報告、他		